

(電子メール施行)
農技第1109号
令和5年4月27日

関係機関長 様

兵庫県病虫害防除所長

令和5年度病虫害発生予報第1号を發表します。

令和5年度病虫害発生予報 第1号

向こう1か月の病虫害発生予想

作物名	病虫害名	発生予想	発生現況
水稲	ヒメトビウンカ	平年並	平年並
麦	赤さび病	やや少	少
	うどんこ病	やや少	少
	赤かび病	やや少	少
	アブラムシ類	平年並	平年並
春キャベツ	黒腐病	やや少	少
	菌核病	平年並	やや少
	軟腐病	やや少	少
	アブラムシ類	やや少	やや少
	コナガ	平年並	平年並
たまねぎ	灰色腐敗病	平年並	やや少
	細菌性病害	やや多	平年並
	べと病	やや多	平年並
	ネギアザミウマ	やや多	平年並
野菜等共通	ヨトウムシ類	平年並	平年並
果樹等共通	果樹カメムシ類	平年並	平年並

太文字の病虫害：向こう1か月の間、発生状況に特に注意を要する病虫害を示す。

* 予報根拠中の記号

- (+)：発生量を多くする要因
- (-)：発生量を少なくする要因
- (±)：発生量が平年並になる要因

* 気象の概況

近畿地方 1 か月予報
(4月22日から5月21日までの天候見通し)

令和5年4月20日
大阪管区气象台 発表

近畿地方 1 か月予報 (04/22~05/21)			
2023年04月20日14時30分 大阪管区气象台 発表			
特に注意を要する事項		なし。	
向こう1か月 04/22~05/21	天候	天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。	
	気温	平均気温は、低い確率50%です。	
	降水量	降水量は、平年並または多い確率ともに40%です。	
	日照時間	日照時間は、平年並または少ない確率ともに40%です。	
1週目 04/22~04/28	気温	1週目は、低い確率70%です。	
2週目 04/29~05/05	気温	2週目は、平年並の確率50%です。	
気温、降水量、日照時間の各階級の確率 (%)			
気温	近畿地方	向こう1か月 04/22~05/21	
		1週目 04/22~04/28	
		2週目 04/29~05/05	
		3~4週目 05/06~05/19	
降水量	近畿地方	向こう1か月 04/22~05/21	
日照時間	近畿地方	向こう1か月 04/22~05/21	

■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

* 発生概況及び防除対策上の留意点

水稻

1 【ヒメトビウンカ】

- (1) 予想：発生量 平年並
- (2) 根拠：発生現況 平年並（±）
気象予報 気温は1週目低く、2週目以降平年並（±）

麦

1 【赤さび病】

- (1) 予想：発生量 やや少
- (2) 根拠：発生現況 少ない（－）
気象予報 気温は1週目低く、2週目以降平年並（±）
降水量は平年並～多い（＋）

2 【うどんこ病】

- (1) 予想：発生量 やや少
- (2) 根拠：発生現況 少ない（－）
気象予報 気温は1週目低く、2週目以降平年並（±）
降水量は平年並～多い（＋）

3 【赤かび病】

- (1) 予想：発生量 やや少
- (2) 根拠：発生現況 少ない（－）
気象予報 気温は1週目低く、2週目以降平年並（±）
降水量は平年並～多い（＋）

4 【アブラムシ類】

- (1) 予想：発生量 平年並
- (2) 根拠：発生現況 平年並（±）
気象予報 気温は1週目低く、2週目以降平年並（±）
降水量は平年並～多い（±）

春キャベツ

1 【黒腐病】

- (1) 予想：発生量 やや少
- (2) 根拠：発生現況 少ない（－）
気象予報 気温は1週目低く、2週目以降平年並（±）
降水量は平年並～多い（＋）

2 【菌核病】

- (1) 予想：発生量 平年並
- (2) 根拠：発生現況 やや少ない（－）
気象予報 気温は1週目低く、2週目以降平年並（±）
降水量は平年並～多い（＋）

3 【軟腐病】

- (1) 予想：発生量 やや少
- (2) 根拠：発生現況 少ない（－）
気象予報 気温は1週目低く、2週目以降平年並（±）
降水量は平年並～多い（＋）

5 【アブラムシ類】

- (1) 予想：発生量 やや少
- (2) 根拠：発生現況 やや少ない（－）
気象予報 気温は1週目低く、2週目以降平年並（±）

6 【コナガ】

- (1) 予想：発生量 平年並
- (2) 根拠：発生現況 平年並（±）
気象予報 気温は1週目低く、2週目以降平年並（±）

たまねぎ

1 【灰色腐敗病】

- (1) 予想：発生量 平年並
- (2) 根拠：発生現況 やや少ない（－）
気象予報 気温は1週目低く、2週目以降平年並（±）
降水量は平年並～多い（＋）

2 【細菌性病害】

- (1) 予想：発生量 **やや多**
- (2) 根拠：発生現況 平年並（±）
気象予報 気温は1週目低く、2週目以降平年並（±）
降水量は平年並～多い（＋）

(3) 防除上の留意点

ア 伝染源となる腐敗株を早期に抜き取り、圃場外で処分する。

イ 排水不良は本病の発病を助長するので、明渠等により圃場排水対策を徹底する。

ウ 強風雨や作業等による傷口から感染して腐敗するので、傷が生じやすい気象条件や作業の程度によっては臨機的な薬剤防除を実施する。

エ 収穫は、晴天時に鱗茎を十分に乾燥させてから実施する。その際、罹病株は選別・除去する。

- オ 早期収穫は貯蔵腐敗を助長するので適期収穫に努める。
- カ その他、地域の栽培ごよみに従って作業を実施すること。
- キ 薬剤散布を行う場合は、病害虫・雑草防除指導指針等を参考にし、農薬使用基準を守ること。また、耐性菌の発生を避けるために同系統の薬剤の連用は控える。

3 【べと病】

- (1) 予想：発生量 **やや多**
- (2) 根拠：発生現況 平年並（±）
気象予報 気温は1週目低く、2週目以降平年並（±）
降水量は平年並～多い（+）
- (3) 防除上の留意点
 - ア 本病については、4月20日付で病害虫発生予察防除情報第2号を発表している。詳細についてはこれを参考にすること（病害虫防除所HPに掲載）。
 - イ 圃場の発生状況を十分観察し、地域の防除暦やタマネギべと病防除対策マニュアル（タマネギべと病防除技術開発コンソーシアム発行、https://www.pref.saga.lg.jp/ki_ji00370267/index.html）を活用して、薬剤防除を徹底すること。
 - ウ 薬剤散布を行う場合は、病害虫・雑草防除指導指針等を参考にし、農薬使用基準を守ること。また、耐性菌の発生を避けるために同系統の薬剤の連用は控える。
 - エ 薬剤散布にあたっては、たまねぎの生育に応じた水量とし、散布ムラの無いように丁寧に行なうこと。

4 【ネギアザミウマ】

- (1) 予想：発生量 **やや多**
- (2) 根拠：発生現況 平年並（±）
気象予報 気温は1週目低く、2週目以降平年並（±）
その他 今後、発生最盛期になり、極早生・早生品種の収穫が進むにつれて、収穫期の遅い中生・晩生品種に移動して、本発生が拡大すると考えられる。
- (3) 防除上の留意点
 - ア 本種は、タマネギえそ条斑病の病原であるアイリス黄斑ウイルス（IYSV）を媒介する。今後、活動が活発になるとIYSVを新たに獲得し媒介するため、適切に防除する。
 - イ 本種の生態と防除の詳細は病害虫・雑草防除指導指針 参考資料に掲載しているので参照すること。
 - ウ 薬剤防除を行う場合は、病害虫・雑草防除指導指針等を参考にし、農薬使用基準を守ること。また、感受性低下を避けるために同系統の薬剤の連用は控える。

野菜共通

1 【ヨトウムシ類】(ヨトウガ、ハスモンヨトウ、シロイチモジヨトウ)

- (1) 予想：発生量 平年並
- (2) 根拠：発生現況 フェロモントラップへの誘殺数は平年並(±)
気象予報 気温は1週目低く、2週目以降平年並(±)

果樹共通

1 【果樹カメムシ類】

- (1) 予想：発生量 平年並
- (2) 根拠：発生現況 フェロモントラップへの誘殺数は平年並(±)
気象予報 気温は1週目低く、2週目以降平年並(±)
その他 チャバネアオカメムシ等果樹を加害するカメムシ類の発生量には隔年性があり、本年は発生が少ない年に該当するが、今後、気温の上昇とともに活動が活発になると考えられる。

* この情報は、兵庫県病害虫防除所ホームページに掲載

<http://bojo.hyogo-nourinsuisangc.jp/>

病害虫・雑草防除指導指針は以下のURLに掲載

<http://www.nouyaku-sys.com/noyaku/user/top/hyogo>

病害虫・雑草防除指導指針 参考資料は以下のURLから

「参考資料」を選択して下さい。

<https://www.nouyaku-sys.com/noyaku/user/haishinfile/list/hyogo>

病害虫防除所の公式Twitterを開設しました！

発生予察情報など病害虫に関する情報を提供しますので、是非フォローお願いします。

Twitterアカウント(http://twitter.com/hyogo_boujoshou)

